

個人装備表

1s=1セット

✓	品名	数	備考	✓	品名	数	備考
	衣類関係				その他		
	シャツ	1	化繊orウール素材 長袖		ヘッドランプ	1	300ルーメン以上推奨・新品電池充填
	パンツ	1	登山用パンツ		ナイフ(クライミング用)	1	ラッキングできるように準備・調理用ではない
	下着	1	速乾繊維またはウール		ホイッスル	1	紐付きのもの
	防寒着	1	ダウンorフリース等		腕時計	1	高度計付が望ましい
	中間着	1	薄手フリース等		トイレトペーパー	適	
	靴下	2s	登山用の靴下		テーピングテープ	1	38mmまたは50mm幅のもの
	帽子	1	キャップ		日焼け止め	1	
	レインウェア	1	セパレートタイプ		リップクリーム	1	
	スパッツ	1	ゲーター(止めゴム予備持参)		常備薬	適	
	手袋	1	行動用		予備電池	2s	
	サングラス	1	UVカット、ケース付、眼鏡拭き持参		筆記用具	適	小型メモ、ペン
	行動用具関係				登はん具関係		
	大型ザック	1	80ℓ以上		ピッケル	1	リーシュ付き
	サブザック	1	40ℓ程度 大型ザックで代用可能		アイゼン	1	10本爪以上、ケース付、予備バンド持参
	登山靴	1	※下記参照		ハーネス	1	クライミング用
	水筒	適	2ℓ以上		ヘルメット	1	
	保温用ボトル(テルモス)	適			ビレイグローブ	1	
	地形図(1/25000)	4	剱岳、立山、黒部湖、十字峡 磁北線を記入		ビレイディバイス	1	「ATCガイド」等
	コンパス	1	プレート付		カラビナ	4	
	生活用具関係				HMS型カラビナ	2	
	シュラフ	1			テープスリング(60cm)	3	
	シュラフカバー	1			テープスリング(120cm)	1	
	個人用マット	1			ランヤード	1	「P.A.S」等
	食器	1s			プルー・ジックロープ	1	※下記参照
	箸・スプーン等	1s			◎登はんコース希望者は下記の装備を追加で持参		
	ライター	1	電子ライター不可		ロックハンマー	1	
	ぞうきん	1	セームタオル可		ハンマーホルダー	1	ハーネスに装着
	スタッフバッグ	適			下降器具	1	「エイト環」等//ビレイディバイスを下降に使用する場合は不要
	ゴミ袋、レジ袋等	適	70ℓ位、食糧パッキング等に使用		カラビナ	8	
	タオル	1			安全環付カラビナ	2	
	食糧関係				HMS型カラビナ	2	
	行動食・湯茶	適	3泊4日分		テープスリング(60cm)	4	
	非常時対策関係				テープスリング(120cm)	1	
	非常食	1s	例:コンデンスミルク、食塩、チョコ等		テープスリング(240cm)	1	
	非常用品	1s	例:レスキューシート、ろうそく、固形燃料、マッチ等		クライミングシューズ	1	
	携帯電話	1			ロックハーケン各種	5	所有しているものがあれば持参
	新型コロナウイルス感染症対応関係など				ナッツ、カミングデバイス	1s	所有しているものがあれば持参
	マスク・アルコールスプレー・使い捨て手袋・ポリ袋				ルート図	適	希望する登はんルートのルート図

※登山靴はアイゼンを装着できるソールの硬いもの。トレッキングシューズは不可。

※プルー・ジックロープは、プルー・ジック用7mmロープ150cmを、ダブルフィッシャーマンズノットでループにする。

その他必要品

✓	品名	数	備考	✓	品名	数	備考
	室内着	1s	所内研修で着用(ジャージ等)		筆記用具	適	ノート、ペン等
	室内用シューズ	1	所内研修で使用		学生証・健康保険証	各1	
	着替え	適	所内研修中の着替え		生活用品	適	歯ブラシ、タオル、携帯電話充電器等 ※シャンプー、ボディソープは浴室に備え付けてあります
	現金		経費25,000円程+各自必要額				

夏の剱岳には豊富な残雪があります。硬く氷化した雪渓を確実に歩くためには、適切な装備が必要です。登山靴、アイゼン、ピッケル等はしっかり点検をした上で持参してください。また、風雨が強くなれば夏でも低体温症等の危険があります。撥水性、防水性の低下したレインウェアは命を危険にさらします。状態の良い物に交換してください。